

◎行動援護従事者養成研修

科目名	時間数	内容	
I 講義	10		
1 強度行動障害がある者の基本的理解に関する講義	1.5	強度行動障害とは	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の対象となる行動障害 ・強度行動障害の定義 ・強度行動障害支援の歴史的な流れ ・知的障害／自閉症／精神障害とは ・行動障害と家族の生活の理解 ・危機管理・緊急時の対応
		強度行動障害と医療	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害と精神科の診断 ・強度行動障害と医療的アプローチ ・福祉と医療の連携
2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識に関する講義	5	強度行動障害と制度	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援給付と行動障害／他（例）支援区分と行動関連項目・重度訪問介護の対象拡大・発達障害者支援体制整備・強度行動障害支援者養成研修
		構造化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造化の考え方 ・構造化の基本と手法 ・構造化に基づく支援のアイデア
		支援の基本的な枠組みと記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的な枠組み ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ
		虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待
		実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実際
3 強度行動障害がある者へのチーム支援に関する講義	3	強度行動障害支援の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障害の人を支える
4 強度行動障害と生活の組立てに関する講義	0.5	行動障害のある人の生活と支援の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害のある人の家族の想い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援

科目名	時間数	内容	
Ⅱ 演習	14		
1 基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習	1	情報収集とチームプレイの基本	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手とその方法 記録とそのまとめ方と情報共有 アセスメントとは
2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する演習	3	固有のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 様々なコミュニケーション方法 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議／まとめ
3 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	1.5	行動障害の背景にあるもの	<ul style="list-style-type: none"> 感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する冰山モデル グループ討議／まとめ
4 障害特性の理解とアセスメントに関する演習	3	障害特性とアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する
5 環境調整による強度行動障害の支援に関する演習	3	構造化の考え方と方法	<ul style="list-style-type: none"> 強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法
6 記録に基づく支援の評価に関する演習	1.5	記録の収集と分析	<ul style="list-style-type: none"> 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正
7 危機対応と虐待防止に関する演習	1	危機対応と虐待防止	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の方法 虐待防止と身体拘束
合計	24		